

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

< 第10週 > A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、過去10年間で最高の値となっている / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4-6

< 風しん > 第9週に引き続いて、第10週にも先天性風しん症候群が報告された

< A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 > 2004年第9週および10週では、これまでの報告に比べて報告数が非常に多くなっている



病原体情報
P.7-8

患者から分離・検出された病原体報告 - インフルエンザウイルス 2003/04シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2003/04シーズン



速報

< 今週は該当記事はありません >



海外感染症情報
P.9

< 今週は該当記事はありません >



感染症の話
P.10-12

< 腸炎ビブリオ感染症 >
感染性胃腸炎の一つであり、7~9月に多発する細菌性食中毒の主要原因菌の一つである



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(10週)
P.13-19



10週のデータ
P.20-29



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)

第10週コメント 3月11日集計分

全数報告の感染症

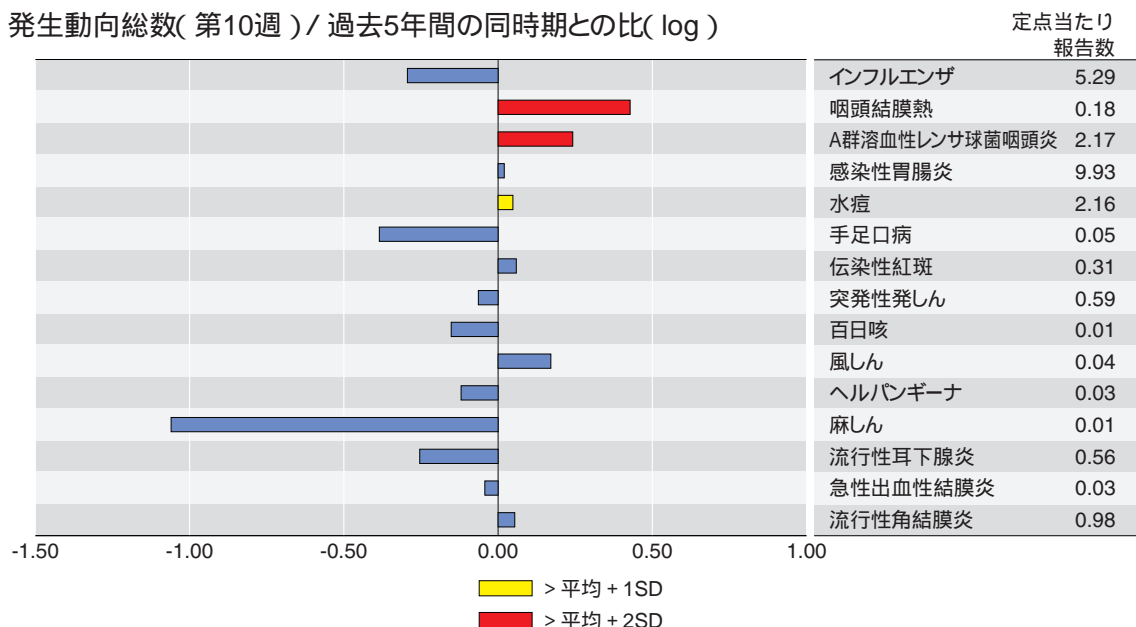
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: 細菌性赤痢 8例(推定感染地域: 国内2例、インド3例、インドネシア1例、ネパール1例、エクアドル1例)
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 3例(いずれも有症者)
血清型・毒素型: O26 VT1(2例) O157 VT2(1例)
年齢: 10歳未満(3例)
 - 4類感染症: エキノコックス症 1例(多包条虫)
Q熱 1例
マラリア 3例 三日熱1例_推定感染地域: ソロモン諸島
四日熱1例_推定感染地域: ウガンダ
熱帯熱1例_推定感染地域: アフリカ 死亡
レジオネラ症 1例(69歳)
A型肝炎 3例(推定感染地域: いずれも国内)
 - 5類感染症: アメーバ赤痢 3例(推定感染地域: いずれも国内)
ウイルス性肝炎 2例(ともにB型_推定感染経路: 性的接触1例、不明1例)
クロイツフェルト・ヤコブ病 3例(いずれも孤発例)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(64歳 死亡)
後天性免疫不全症候群 7例(無症候4例、AIDS 2例、その他1例)
推定感染経路: 性的接触6例(異性間3例、同性間3例)、不明1例
推定感染地域: 国内5例、カナダ1例、不明1例
先天性風しん症候群 1例
梅毒 6例(早期顕性1期1例、無症候5例)
破傷風 1例(64歳)
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例(遺伝子型: VanC、菌検出検体: 血液)
- (補)他にQ熱1例の報告があったが、削除予定。また、第5週分の報告遅れとしてE型肝炎1例(推定感染源: 鹿肉、猪肉)、第9週分の報告遅れとして劇症型溶血性レンサ球菌感染症(11歳、死亡)の報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第10週)/過去5年間の同時期との比(log)



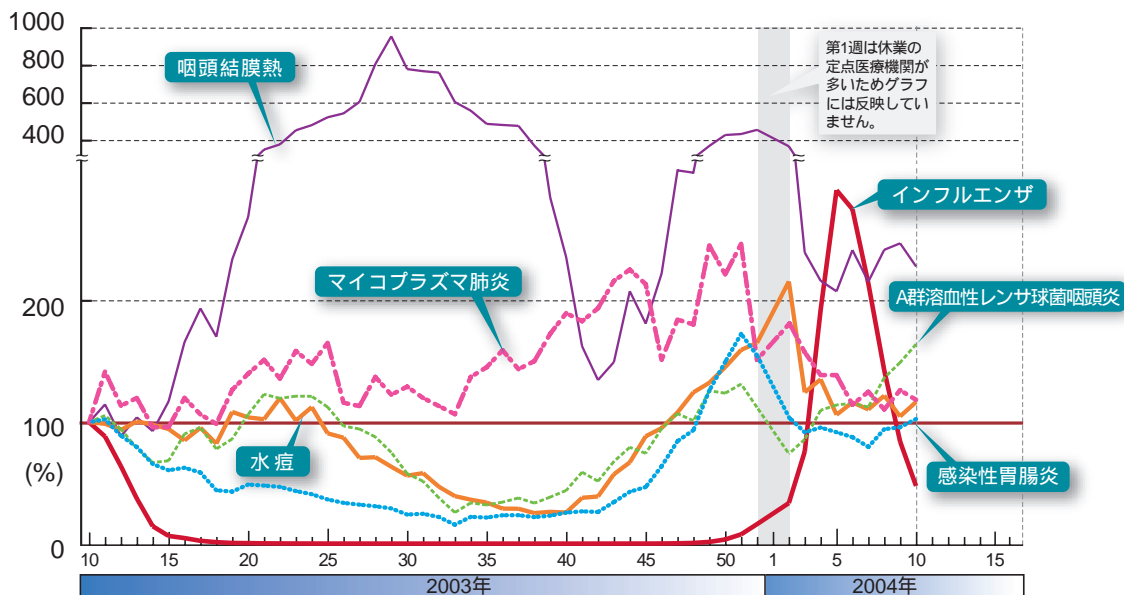
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

インフルエンザ定点報告疾患: インフルエンザの定点当たり報告数は第5週をピークに減少し始め、第10週も減少した。都道府県別では大分県(18.6)、宮崎県(16.9)、福井県(14.4)が多い(「注目すべき感染症」参照)。

小児科定点報告疾患: 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2003年第43週から増加傾向が認められたが、2004年第2週から減少し、第3週からは週により増減はあるが、ほぼ横ばいで推移している。過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多く、都道府県別では宮崎県(0.7)、石川県(0.6)、岐阜県(0.5)、和歌山県(0.5)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第34週から増加傾向が認められた後、第51週をピークに減少したが、第3週から再び増加傾向が認められ、第10週も増加した。過去10年間で最高の値となっており、都道府県別では富山県(9.1)、新潟県(6.2)、山形県(6.0)が多い(「注目すべき感染症」参照)。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第43週から増加し続けた後、第51週をピークに減少傾向が認められていたが、第8週から再び増加し、第10週も増加した。都道府県別では大分県(21.0)、佐賀県(17.8)、三重県(17.1)が多い。水痘の定点当たり報告数は第2週に過去10年間で最高の値となった後に減少し、第5週からは週により増減はあるが、ほぼ横ばいで推移している。過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では宮崎県(3.9)、福岡県(3.8)、鹿児島県(3.8)が多い。風しんの定点当たり報告数は微増し、都道府県別では群馬県(0.4)、鹿児島県(0.3)、大分県(0.2)が多い(「注目すべき感染症」参照)。RSウイルス感染症の報告数は34都道府県から合計102例であった。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は微減して0.19で、4年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では岡山県(1.4)、山形県(0.8)が多い。

主要疾患の過去1年間の週別定点当たり報告数の動き(第10週)





注目すべき感染症

風しん

第9週の岡山県からの報告に引き続いて、第10週にも東京都から先天性風しん症候群 (congenital rubella syndrome: CRS) が報告され、今年すでに2例となった。

予防のためには、妊娠可能で免疫がない女性はワクチンを接種し、免疫を獲得しておく必要があるが、社会全体のレベルでも免疫獲得者の割合を十分多くし、風しんの流行を抑えることによって、妊婦が感染する可能性を減少させることも重要である。

2003年9月まで風しん予防接種の経過措置のキャンペーンなども行われており、ここ数年、小児科定点から報告される全国の風しん患者数は、以前よりかなり少なく推移している。しかしながら、本年の定点当たり報告数を都道府県別にみると、大分県、群馬県、鹿児島県など依然として報告数の多い都道府県もあり、そこでは地域的な流行が認められている(図1)。また、患者の年齢群を比較してみると、本年は昨年に比べて、学童期や20歳以上の割合が多くなっている(図2)。これらの報告は小児科定点からの報告であるので、成人の風しんがより多い可能性もあり、予断を許さない。

風しんはワクチンで予防できる疾患であり、経過措置が終了した現在も、定期接種の対象者だけでなく、当時の経過措置の対象年齢層を中心に、免疫のない者への任意接種の普及啓発が大切である。また、小児科ばかりでなく、特に妊婦や妊娠年齢の女性の管理を行う産科や婦人科においても、地域での風疹の流行状況などに細心の注意を払って対策を講じる必要がある。

図1. 風しんの都道府県別累積報告数

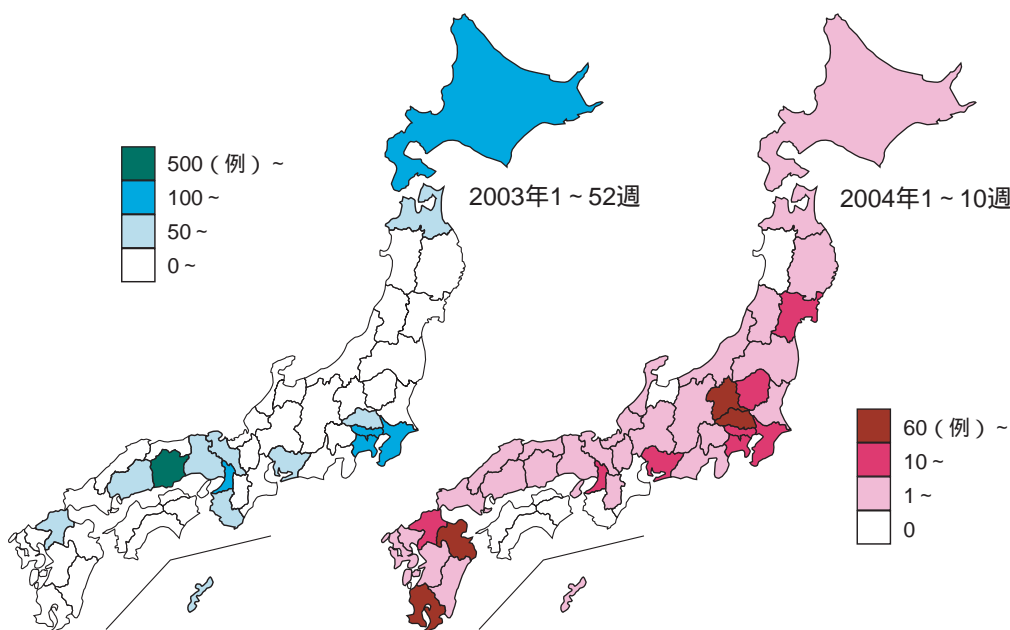
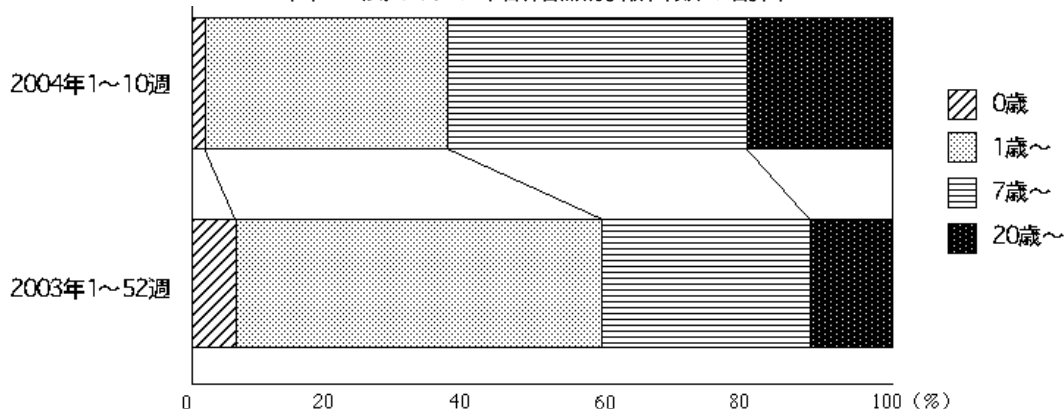


図2 . 風しんの年齢階級別報告数の割合



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌による感染症は、菌の侵入部位や組織によって多彩な臨床症状を引き起こす。日常よくみられる疾患として、急性咽頭炎の他、膿痂疹、蜂巣織炎、あるいは特殊な病型として猩紅熱がある。これら以外にも中耳炎、肺炎、化膿性関節炎、骨髓炎、髄膜炎などを起こす。また、菌の直接の作用でなく、免疫学的機序を介してリウマチ熱や急性糸球体腎炎を起こすことが知られている。

本疾患は、迅速診断キットの普及などから近年報告数が増加していたが、2004年第9週および10週では、これまでの報告に比べて報告数が非常に多くなっている(図1)。都道府県別では富山県(9.1)、新潟県(6.2)、山形県(6.0)、鳥取県(5.3)、宮城県(5.3)、福井県(5.0)などが多い(図2、表1)。また年齢群別では、5歳を中心に4歳、6歳の年齢での報告が多い。

図1 . A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の年別・週別発生状況
1994年～2004年

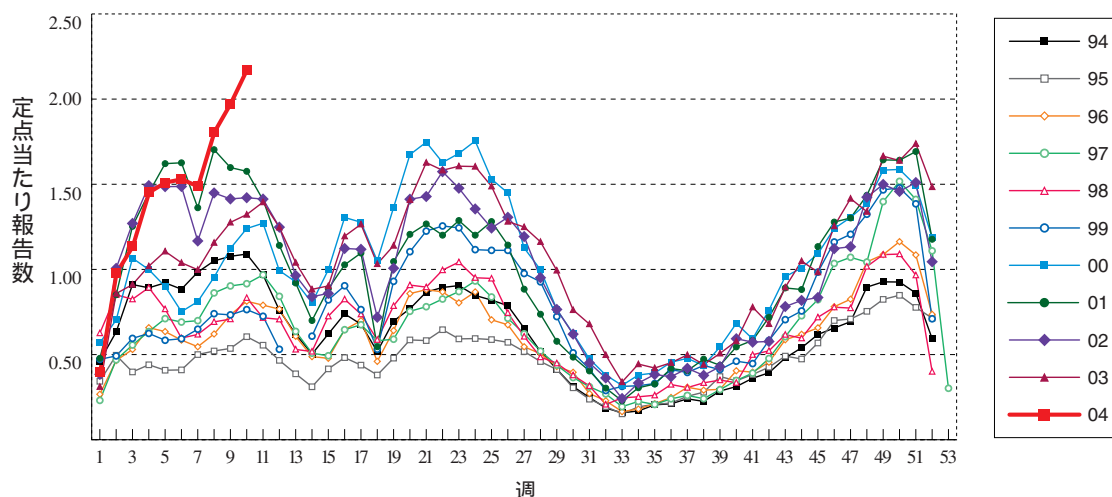


図2 .5県および全国におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の週別発生状況
2004年第1週～第10週

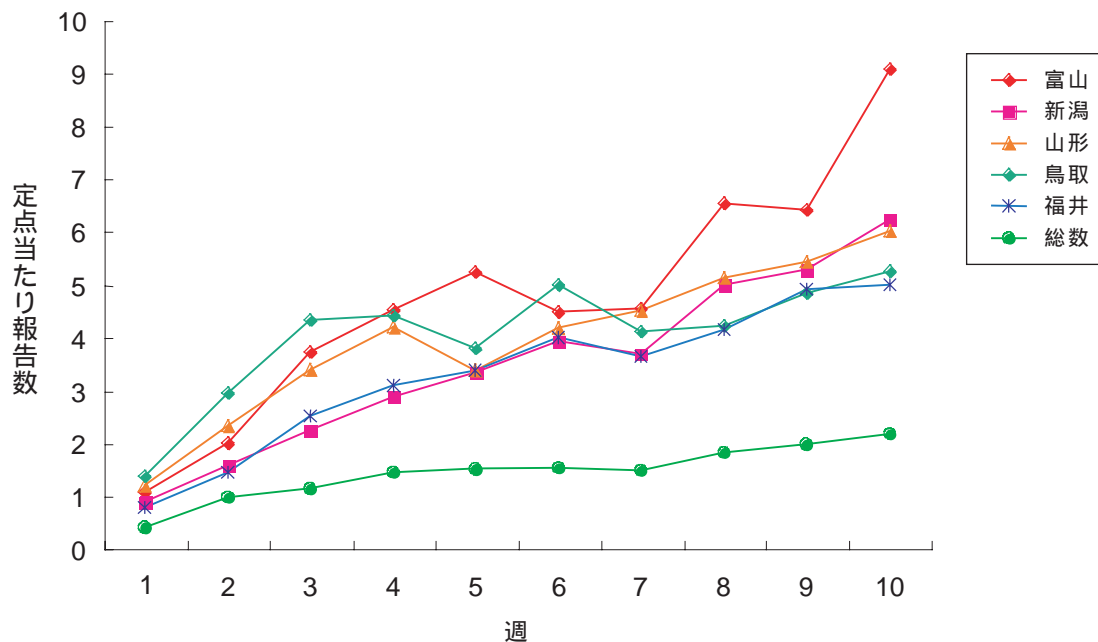


表1 .5県におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の状況

県	累積定点当たり報告数	県内の状況(それぞれのホームページより)
1 富山県	47.62	砺波管内で多い
2 鳥取県	40.26	東部管内で多い
3 山形県	39.73	4カ所の管内全てにおいて増加傾向にあるが、特に庄内および村山管内で多い
4 新潟県	35.00	新津、柏崎、糸魚川管内で多い
5 福井県	34.19	奥越、丹南管内で多い



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2004年3月12日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2003/04シーズン

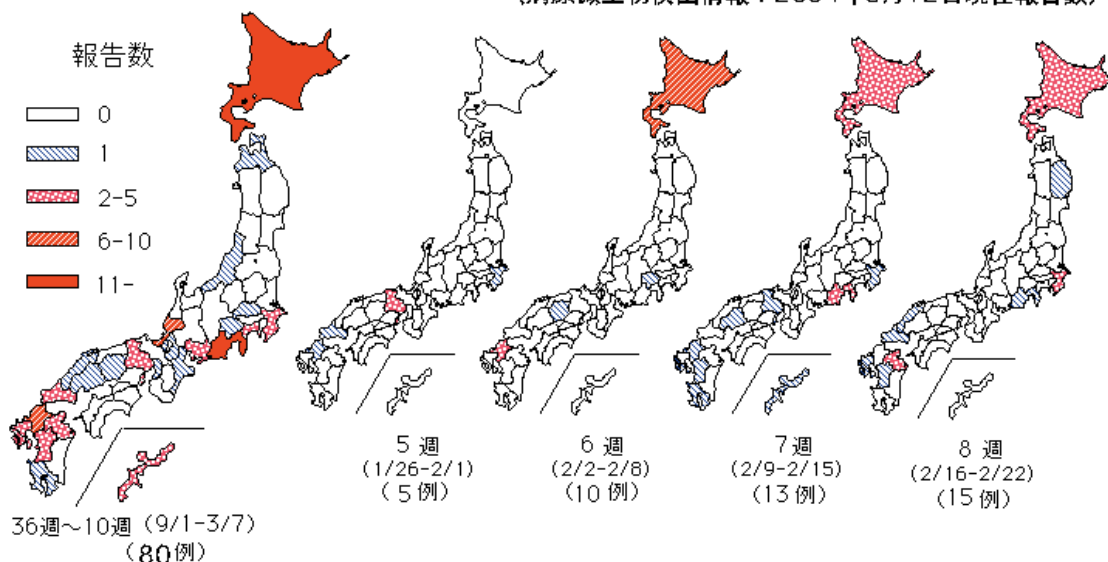
AH3型ウイルスの分離・検出報告がほとんどで、計3,249件(PCRのみの検出29件を含む)が報告されている。このうちN型別された233件はすべてN2であった。今シーズンの増加は昨シーズン(2002/03シーズン)よりやや遅く第51週頃より始まり、年明け以後、昨シーズンと同時期の第4週にピークを示している。第4週から第10週までの分離・検出数は順に721、609、446、244、120、63、17である。これまでに全国43都道府県から分離・検出が報告されている。

B型ウイルスの分離・検出報告は計80件(PCRのみの検出1件を含む)で、これまでに全国25道府県から報告されている。第47週以降は少ないながらも毎週分離されており、年明け以降は徐々に増加傾向にある。第4週から第10週までの週別分離・検出数は6、5、10、13、15、2、2である。第6週以降は分離・検出される地域が増加している。北海道17、静岡県13、福井県6、福岡県6などからの報告が多い。

AH1型ウイルスの分離報告は計3件で、第49週に分離された長野県の1件(IDWR2003年第51号速報記事参照)と、埼玉県で分離された2件(第49週、第50週各1)の報告である。埼玉県の2件のうちN型別された1件はN1であった。

都道府県別インフルエンザウイルスB型分離・検出報告状況、2003/04シーズン

(病原微生物検出情報：2004年3月12日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

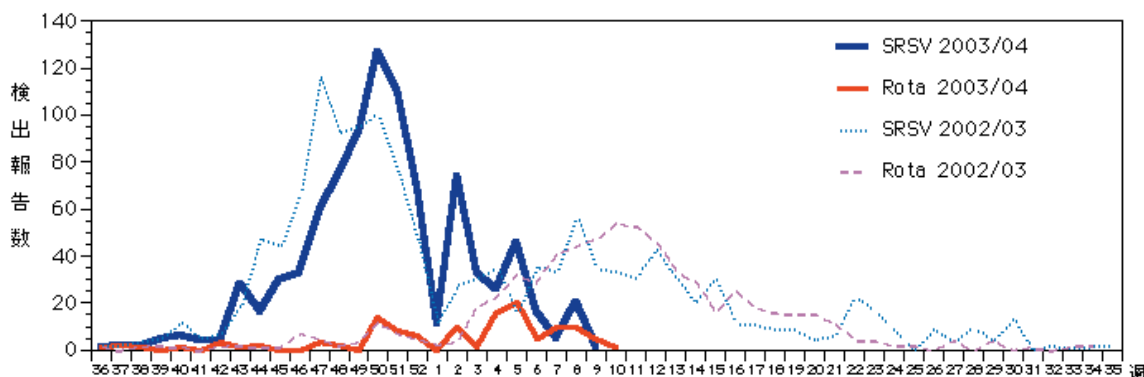
冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2003/04シーズン

小型球形ウイルス(SRSV)の報告は第50週にピーク(127件)を迎えた後、年末年始にかけて減少したが、年明け第2週には再び増加している。ほとんどがノロウイルスgenogroup(G)IIの報告であり、ノロウイルスGIIはこれまでに秋田県80、岡山県75、愛媛県63、岩手県62など、30都府県から計701件報告されている。ノロウイルスGIは10都府県から32件の報告で、うち11件は秋田県からの報告である。サポウイルスの報告は27件で、愛媛県の20件中10件は第50週に幼稚園で起きた集団発生事例からの検出である。この他に、ノロウイルスG不明が119件(新潟県32、熊本県24、山形県20、福井県14、奈良県14、東京都8、新潟県4、鳥取県3) 電顕のみによる検出が18件(岡山県13、栃木県5)報告されている。

ロタウイルスは第50週以降増加傾向にあり、第4週から第10週までの検出数は16、20、5、10、10、5、1である。報告のほとんどはA群であり、これまでにA群は19都府県から計120件(香川県26、大阪府20、奈良県12、愛媛県10、山口県9、鹿児島県9、東京都7など) 群不明は2件(愛媛県1、福岡県1)報告されている。ほとんどが5歳以下の小児からの検出である。

週別SRSV&ロタウイルス検出報告数の推移、2002/03、2003/04シーズン

(病原微生物検出情報: 2004年3月12日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。





海外感染症情報

今週はお休みさせていただきます。
海外感染症情報については、
FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)
でご覧いただけます。



感染症の話

腸炎ビブリオ感染症

腸炎ビブリオは、5類感染症定点把握疾患である感染性胃腸炎の起炎菌の一つである。1950年10月、大阪南部で発生した「シラス干し」による患者272名、死者20名の大規模食中毒の原因菌として、腸炎ビブリオが初めて分離された。腸炎ビブリオによる食中毒の原因食品はほとんどが魚介類である。現在でも、8月を発生のピークとして、7～9月に多発する細菌性食中毒の主要原因菌の一つである。以前に国内で主流であった菌型から新しい菌型への変化が見られ、1998年をピークに急増したが、ここ数年はまた減少してきている。

疫学

1980年代前半までは細菌性食中毒のおよそ半数を占め、発生数並びに患者数とも常に第1位であったが、1980年代後半からは減少傾向であった。ところが1992、3年頃を下限として急増に転じ、1997、8年には発生数で、1998年には患者数でも最近同じく急増しているサルモネラを上回ったが、ここ数年は再び減少に転じている(2004年IDWR第5週号・感染症の話「サルモネラ感染症」図1参照)。原因食品としては、判明しているもののほとんどが魚介類およびその加工品である。加熱加工したものが、汚染した水や器具によって二次汚染していたと考えられる例もある。

腸炎ビブリオは菌体表面抗原であるO抗原によって1～11(12、13は検討中)に、また莢膜抗原であるK抗原によって1～75(7つの欠番がある)に型別される。以前には血清型O4:K8が主流であったが、1992、3年以降はこれに代わってO3:K6が急増し、腸炎ビブリオ食中毒全体の発生急増の原因と考えられる(図1)。同時期、インドやタイなどの東南アジア、あるいは米国や韓国でも同型菌の流行が起こっており、このO3:K6型菌が世界的に流行していることをうかがわせる。パルスフィールド電気泳動(PFGE)法による遺伝子型を比較しても、各国で発生しているものは極めてよく似たパターンを示し、同一クローンである可能性を示唆している(図2)。1998年には東南アジア各地および国内で新しい血清型O4:K68が検出された。OあるいはK抗原が異なればPFGEのパターンにも差異が認められるが、このO4:K68は近年流行のO3:K6と非常によく似たPFGEパターンを示し、遺伝的に類似度が高いことが示唆される。その起源とともに、今後の動向が注目される(図1、2)。

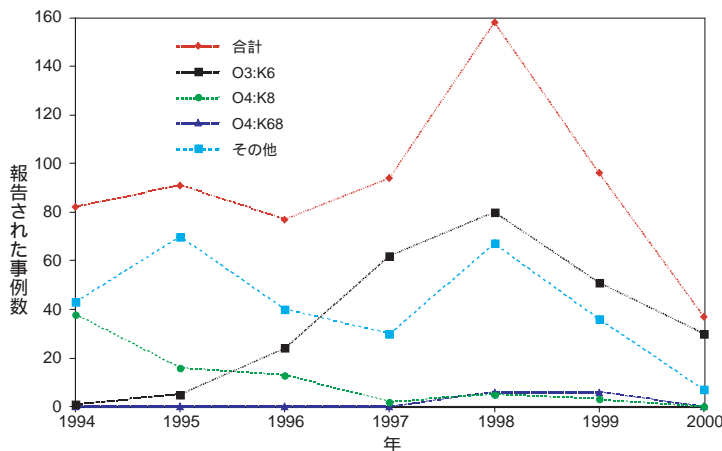


図1. 腸炎ビブリオ血清型の推移(1994-2000)
(病原微生物検出情報「流行・集団発生情報」患者発生数10名以上の事例より)

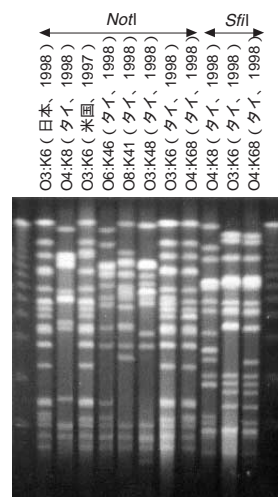


図2. 腸炎ビブリオ分離株のPFGEパターン
(:ラムダラダーマーカー)

病原体

腸炎ビブリオの学名は *Vibrio parahaemolyticus* で、コレラ菌と同じビブリオ属菌である。コレラ菌のようにソラマメ様に湾曲はしていないが、一端に1本のべん毛をもって活発に運動する短桿菌である。幼若培養菌では周毛を形成する(図3)。好塩性があり、3%食塩濃度で最もよく発育し、栄養、温度などの条件がそろえば8～9分で分裂・増殖する。逆に10℃以下では発育せず、熱にも弱く、煮沸すれば瞬時に死滅する。最近、腸炎ビブリオやコレラ菌の染色体は環状ではあるけれども、一般の細菌のように1本ではなく、大小2本あることが発見された。染色体のサイズを小さくすることで、増殖速度を速めているものと考えられている。病原因子として耐熱性溶血毒(TDH)、およびその類似溶血毒(TRH)という蛋白質性溶血毒があり、TDHによって起こる溶血性を神奈川現象と呼ぶ。TDH、TRHともに小さい方の染色体にコードされている。

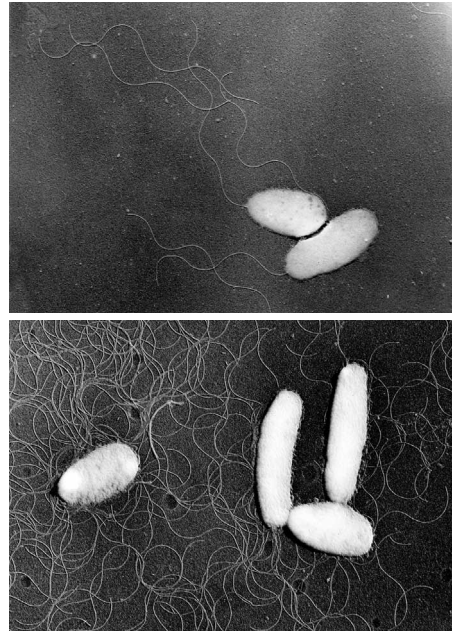


図3. 腸炎ビブリオの電子顕微鏡写真
(20,000倍、パラジウムによるシャドウイング法)
上: 波状の長い単毛。
下: 周毛。単毛よりも波状が短く、細い。

臨床症状

潜伏期間は12時間前後で、主症状としては堪え難い腹痛があり、水様性や粘液性の下痢がみられる。まれに血便がみられることもある。下痢は日に数回から多いときで十数回で、しばしば発熱(37～38℃)や嘔吐、吐き気がみられる。下痢などの主症状は一両日中に軽快し、回復する。高齢者では低血圧、心電図異常などがみられることもあり、死に至った例もある。

病原診断

できる限り抗菌薬投与前に、排便直後の新鮮便の一部を直接TCBS寒天培地に塗抹し、37℃一夜培養する。腸炎ビブリオはTCBS寒天上で、白糖非分解性の中心部が濃緑色ないし青緑色の集落を形成する。腸炎ビブリオが疑われる集落はさらに各確認培地に接種し、その性状を調べ同定する。その最小限の性状は(オキシダーゼ・リシン脱炭酸・インドール・ブドウ糖の発酵・マンニットの分解・3および8%NaCl加ブロスでの発育)-陽性、(ブドウ糖からのガス産生・白糖の分解・0および10%NaCl加ブロスでの発育)-陰性である。同定された菌株は、O、K抗原を調べて血清型を決定する。必要に応じて、*tdh*、*trh*遺伝子を調べる。

治療・予防

感染性胃腸炎の治療としては対症療法が優先されるが、腸炎ビブリオでは特に抗菌薬治療を行わなくても数日で回復する。ぜん動抑制をするような強力な止瀉薬は、菌の体外排除を遅らせるので使用しない。下痢による脱水症状に対しては輸液を行う。解熱剤は脱水を増悪させることがあり、またニューキノロン薬と併用できないものがあるので、慎重に選択すべきである。病原体の定着阻止を目的に、乳酸菌などの生菌整腸剤を使用する。抗菌薬を使用する場合は、ニューキノロン薬あるいはホスホマイシンを3日間投与する。腸炎ビブリオ食中毒の予防は、原因食品、特に魚介類の低温保存、調理時あるいは調理後の汚染防止が重要である。十分な加熱により菌は死滅するので、大量調理の場合はその点に注意する。

食品衛生法での取り扱い

食中毒が疑われる場合は、24時間以内に最寄りの保健所に届け出る。

感染症法における取り扱い

腸炎ビブリオ感染症は、5類感染症定点把握疾患である感染性胃腸炎の起因病原体の一つである。感染性胃腸炎は全国約3,000の小児科定点医療機関から毎週報告がなされている。

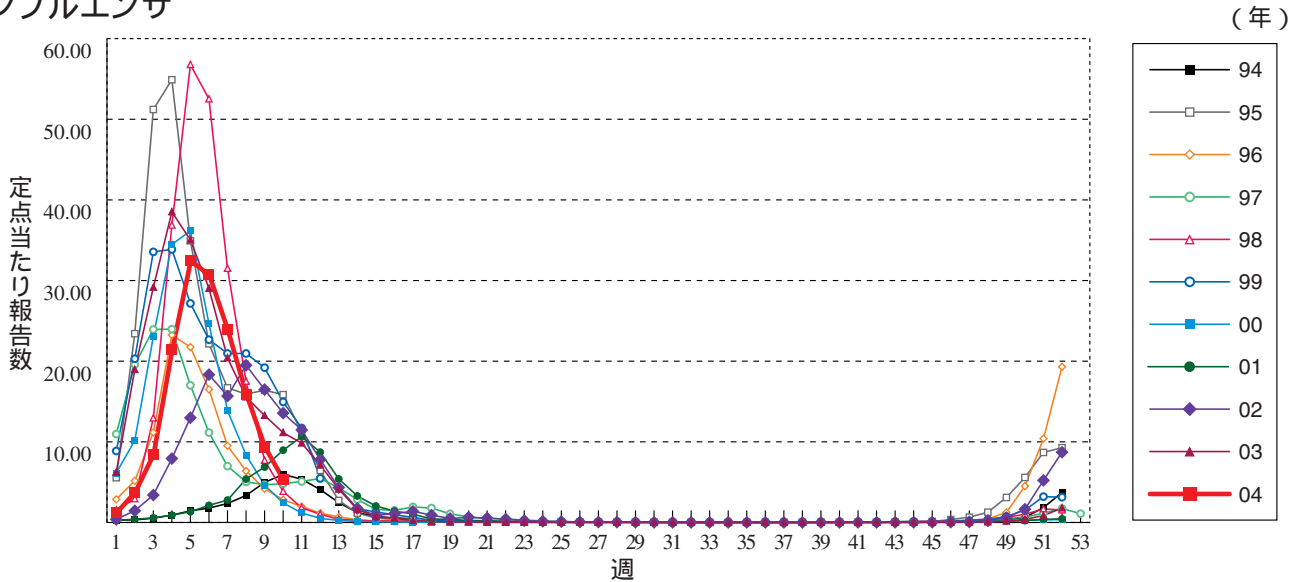
【文献】

1. 藤野恒三郎, 他(編), 腸炎ビブリオ, 一成堂, 東京, 1963
2. Vuddhakul V, et al., Appl Environ Microbiol, 66(6):2685, 2000
3. 荒川英二, 他, 病原微生物検出情報, 20:161, 1999
4. Yamaichi Y, et al., Mol Microbiol, 31:1513, 1999

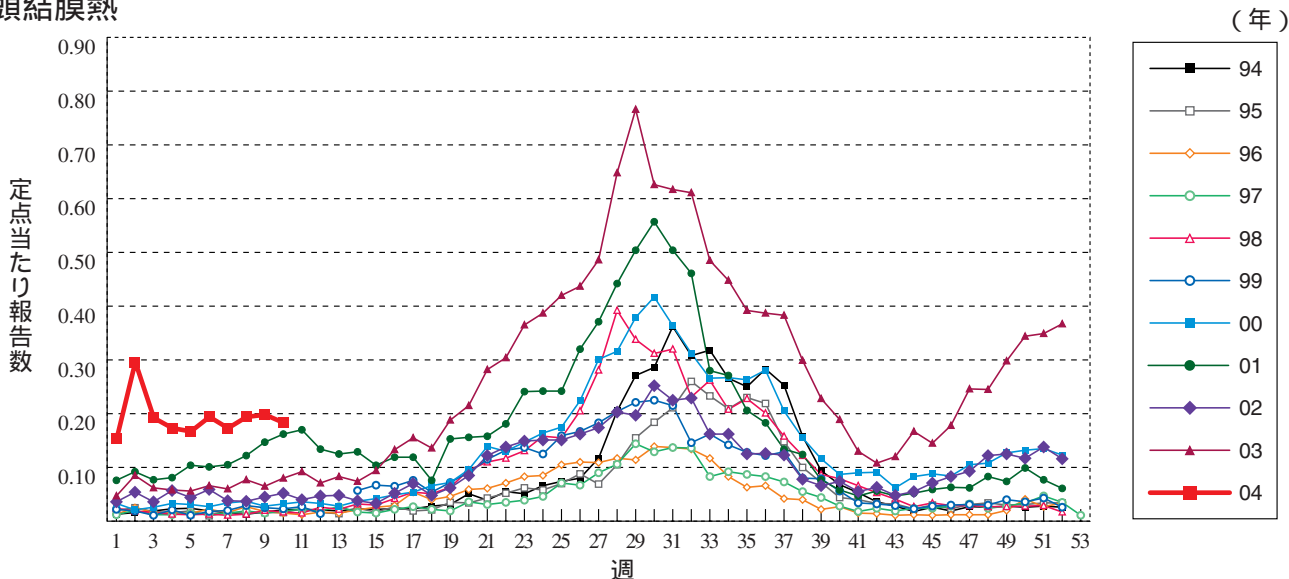
(国立感染症研究所細菌第一部 荒川英二)

グラフ総覧(10週)

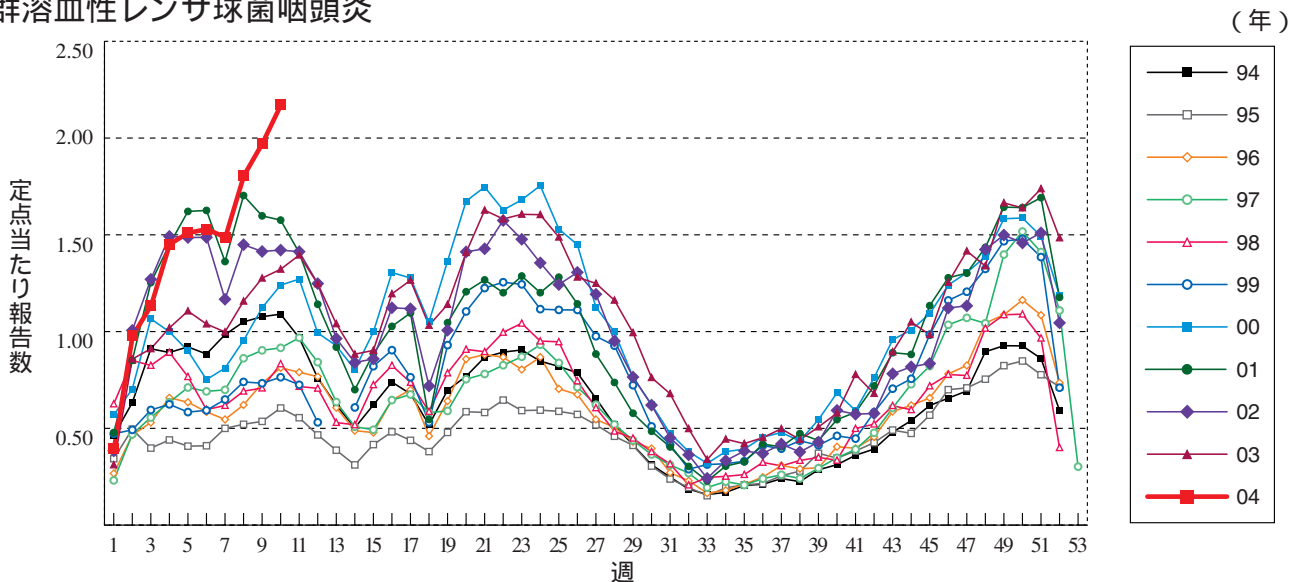
インフルエンザ



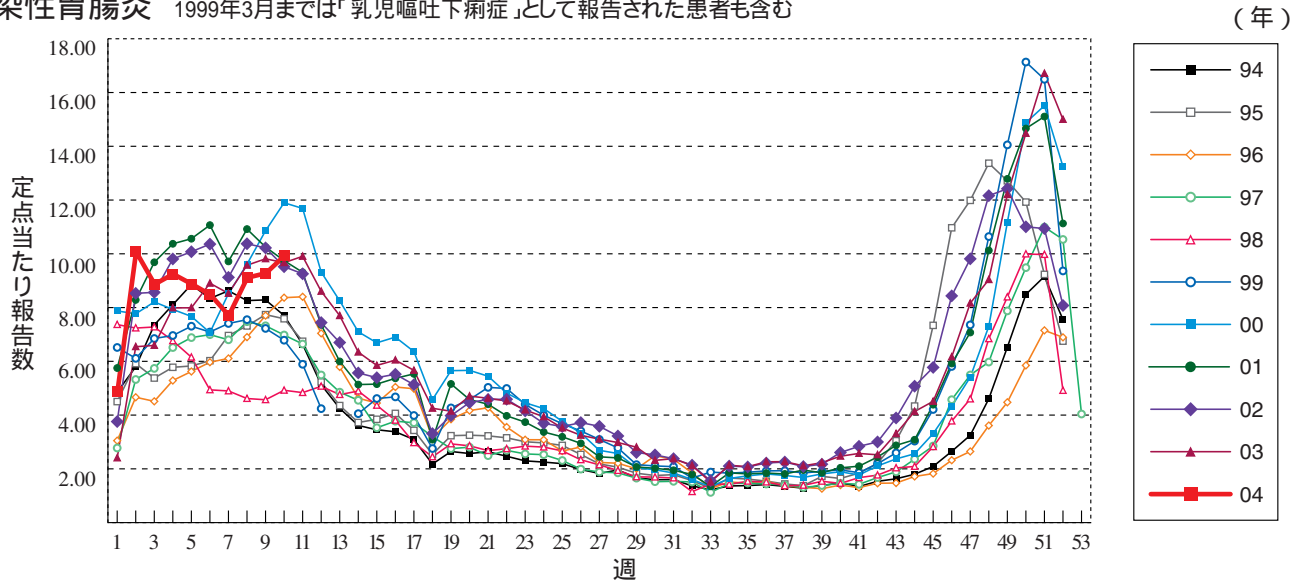
咽頭結膜熱



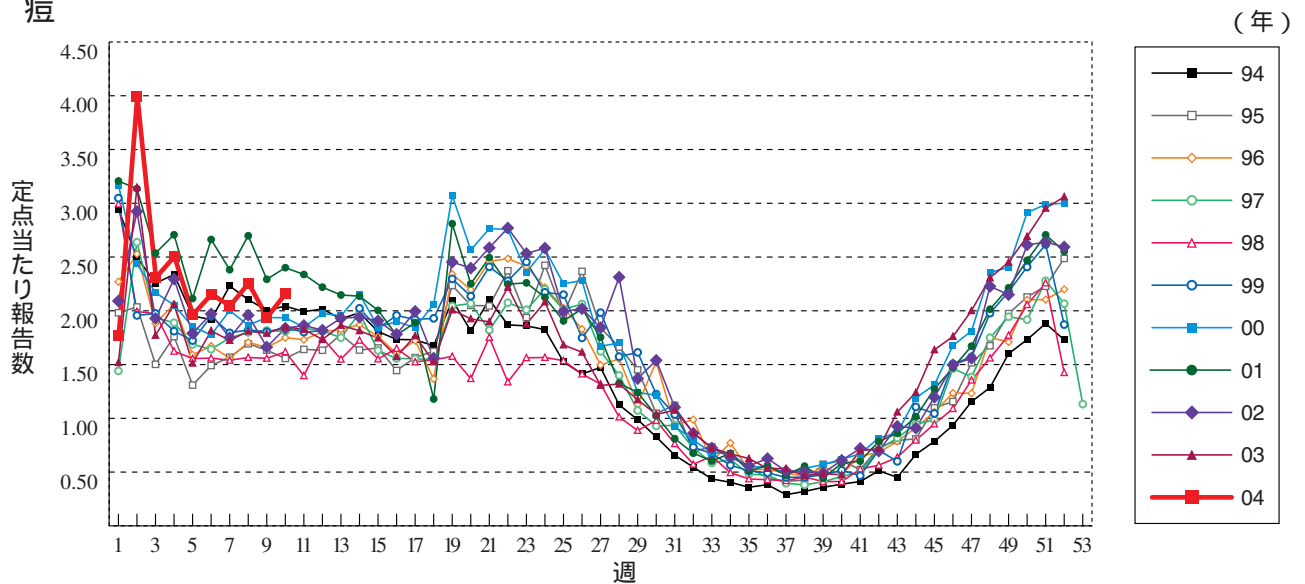
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



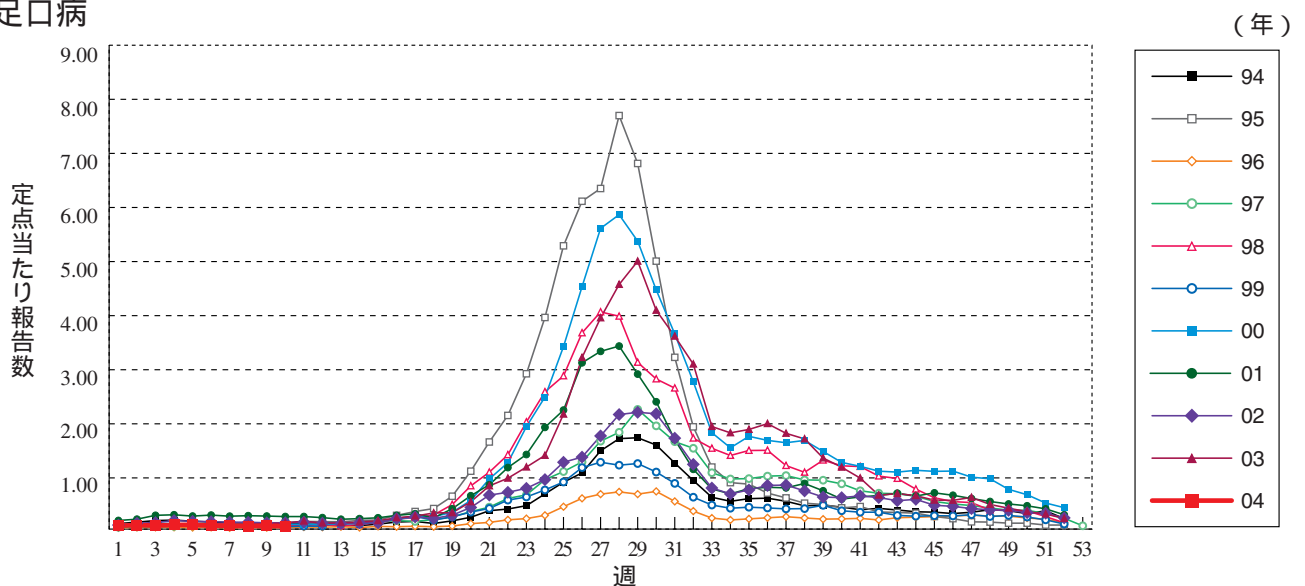
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



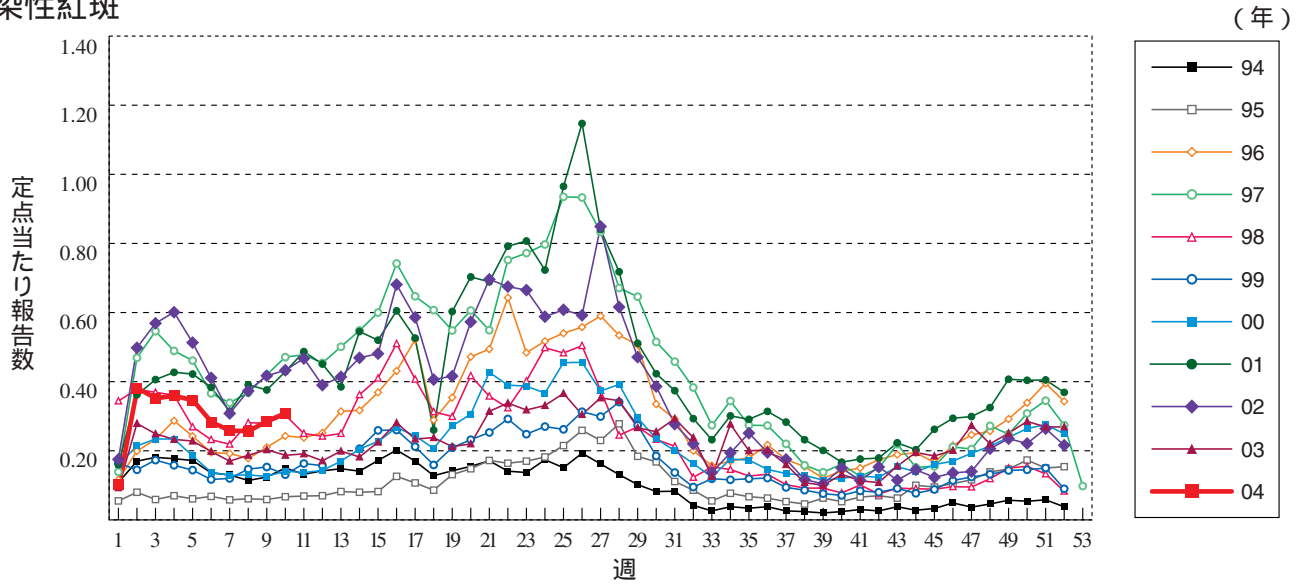
水痘



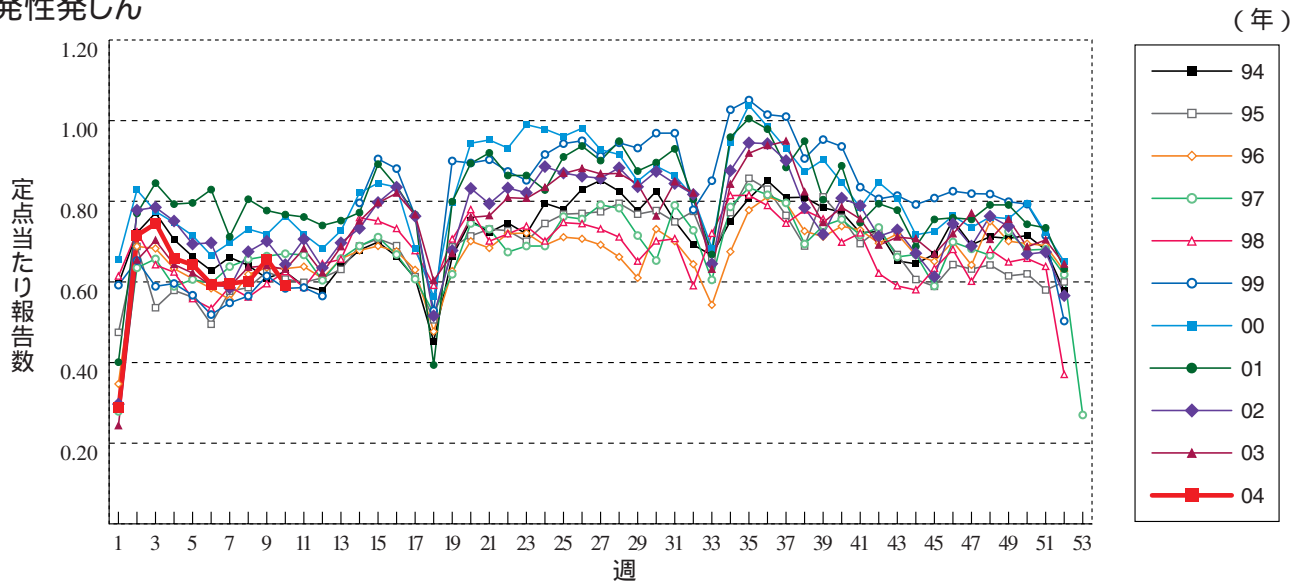
手足口病



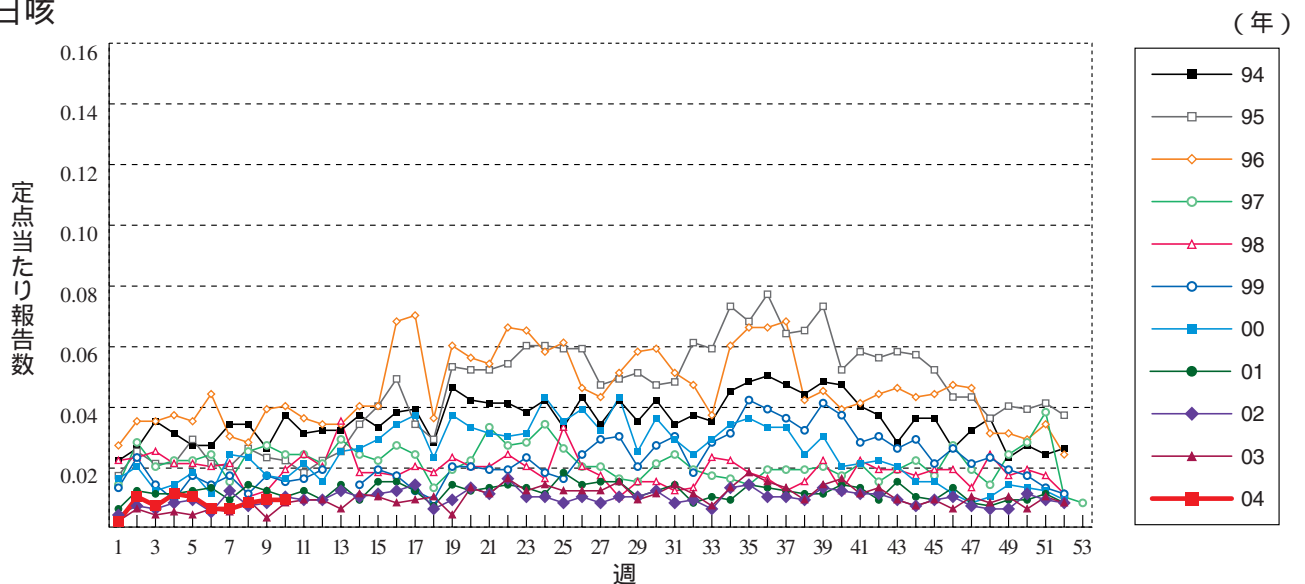
伝染性紅斑



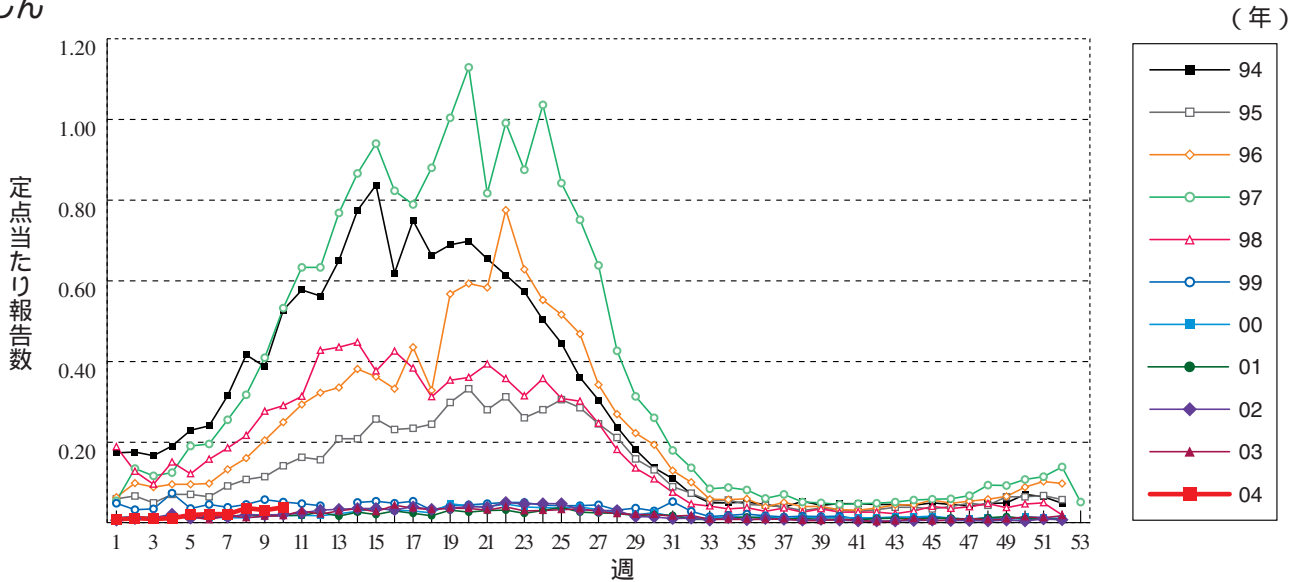
突発性発しん



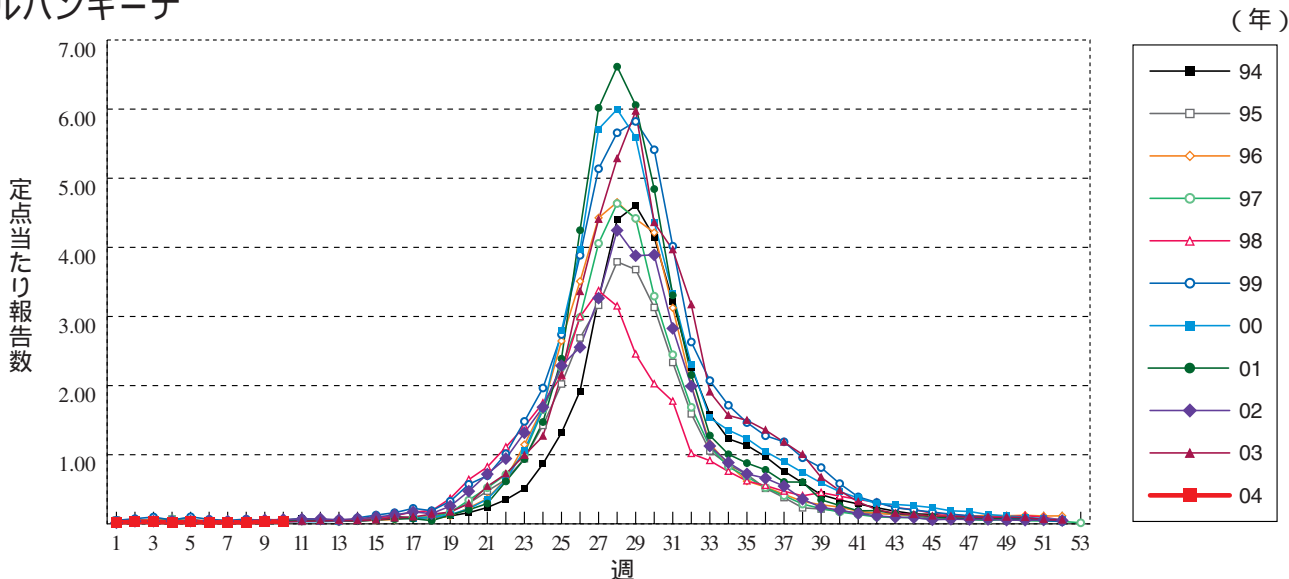
百日咳



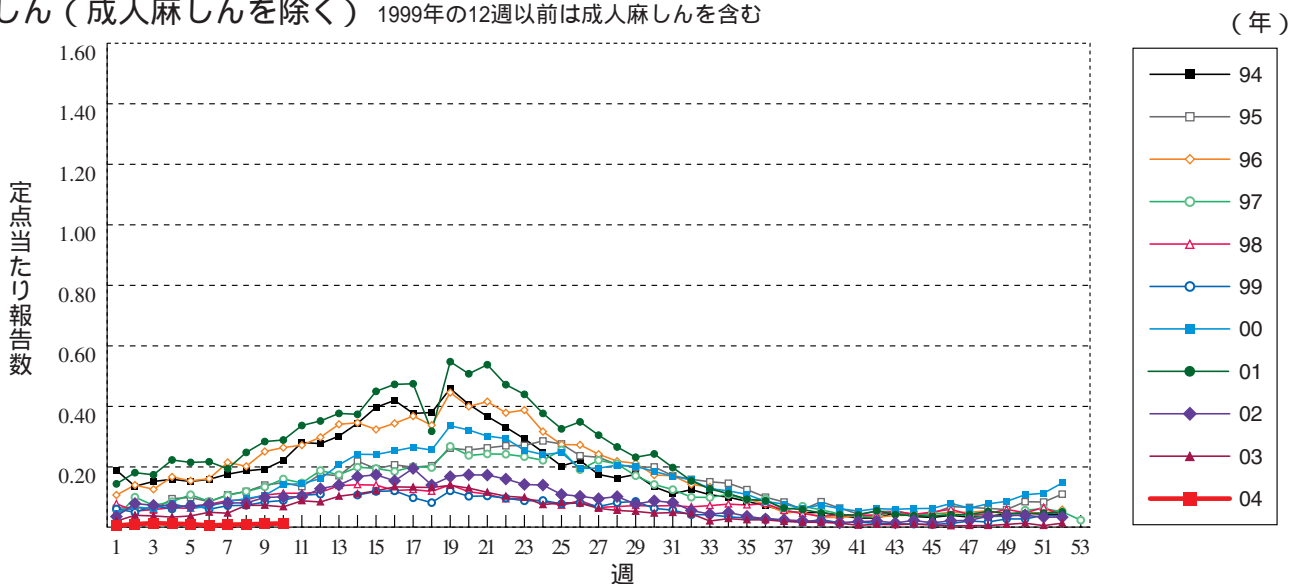
風しん



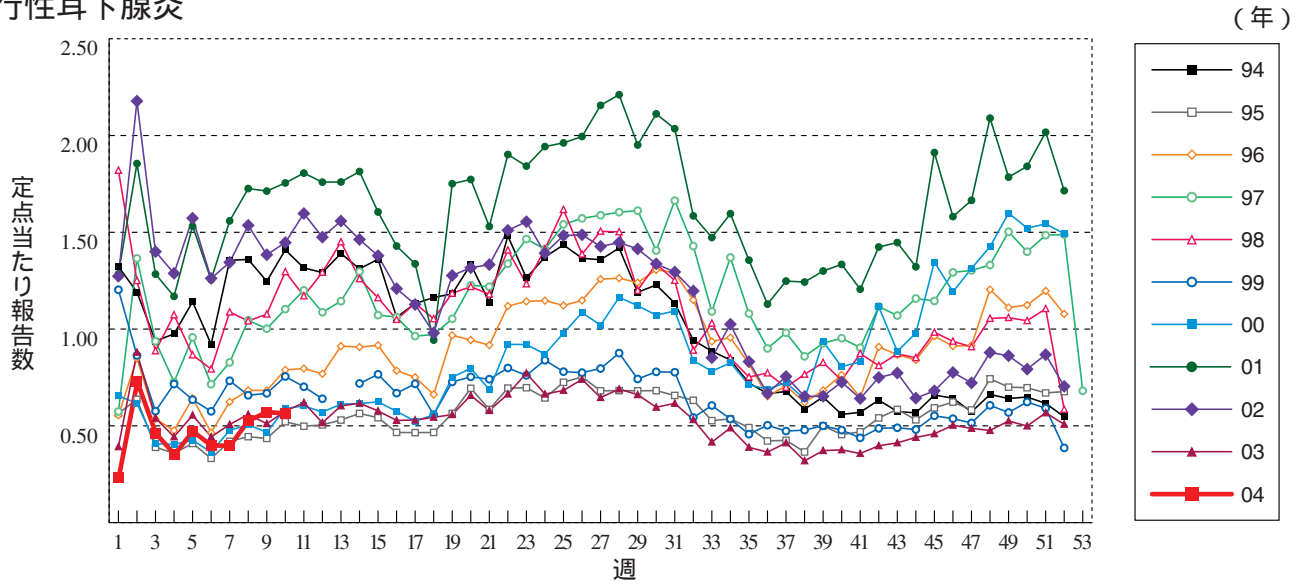
ヘルパンギーナ



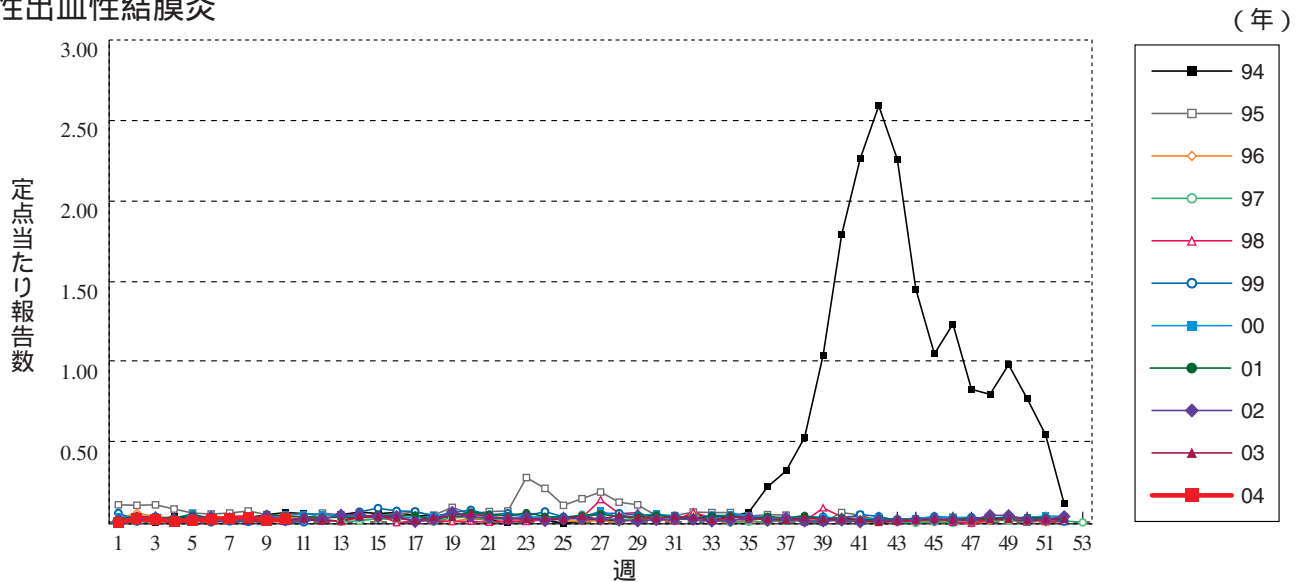
麻疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



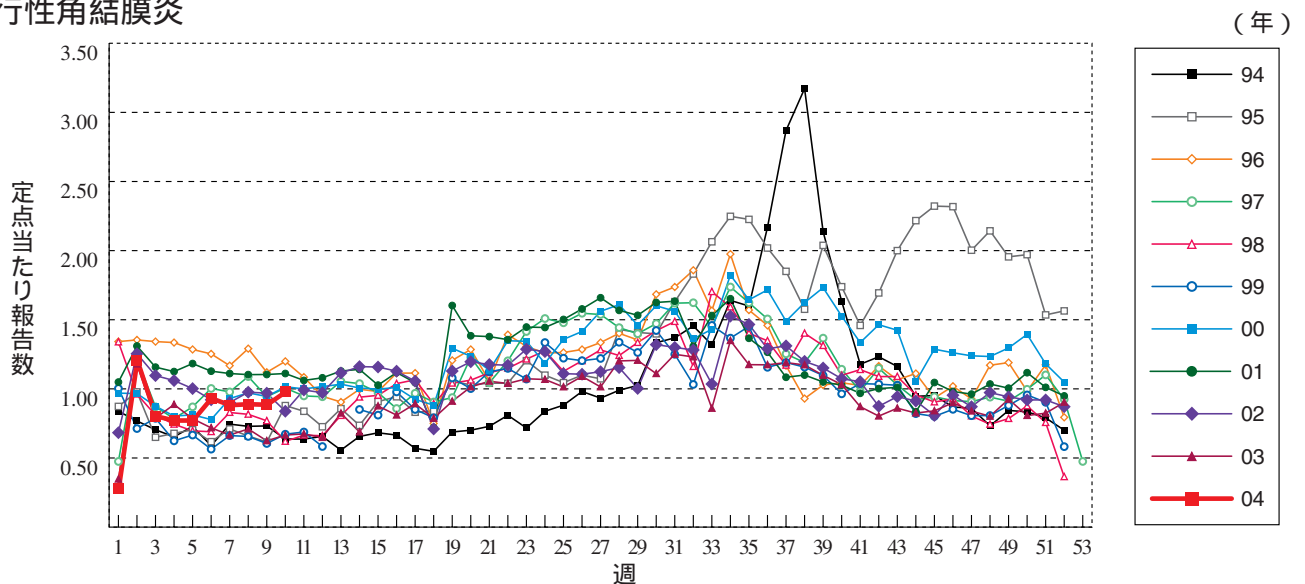
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

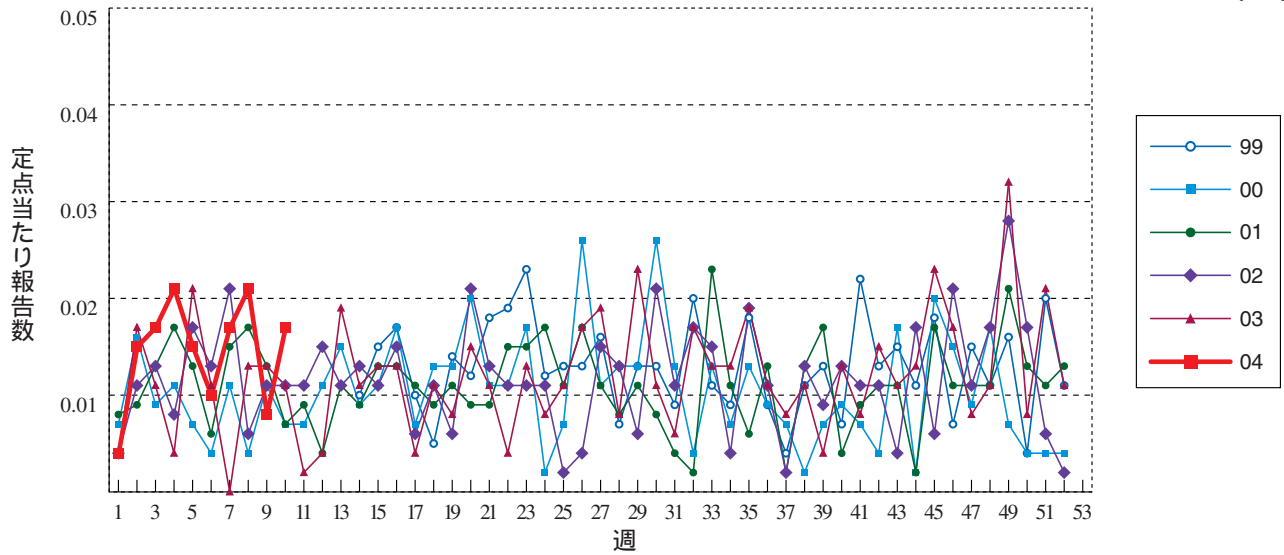


流行性角結膜炎



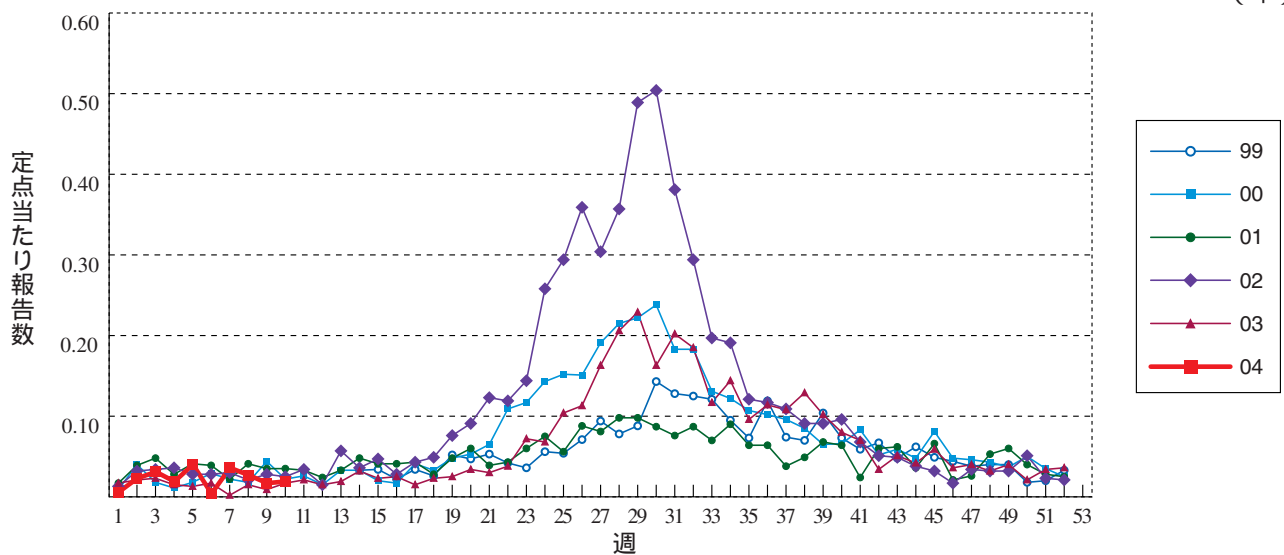
細菌性髄膜炎

(年)



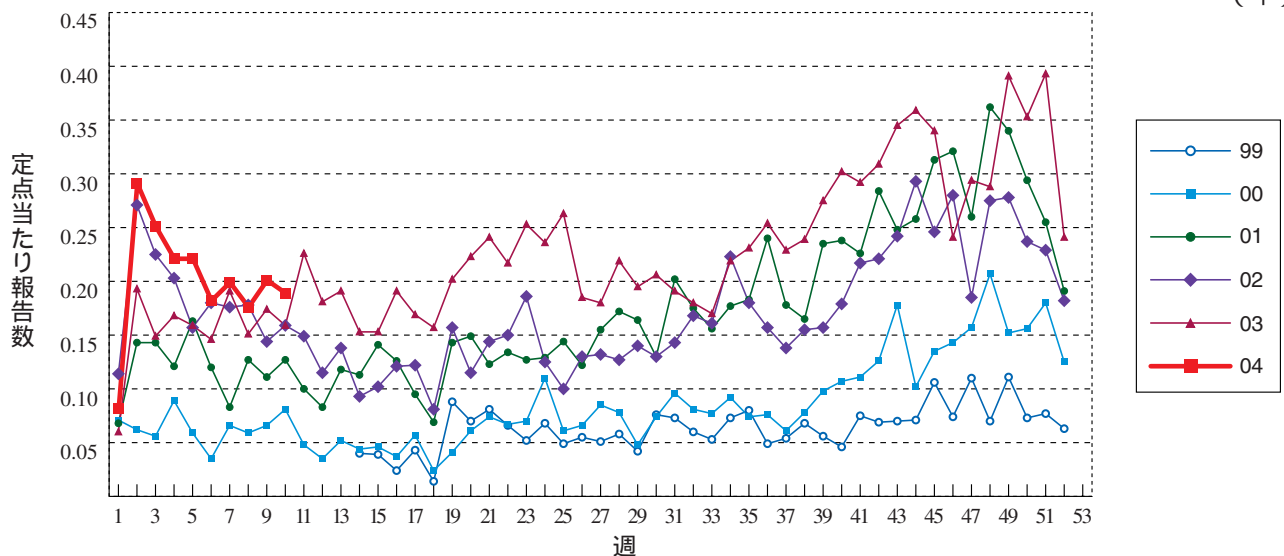
無菌性髄膜炎

(年)



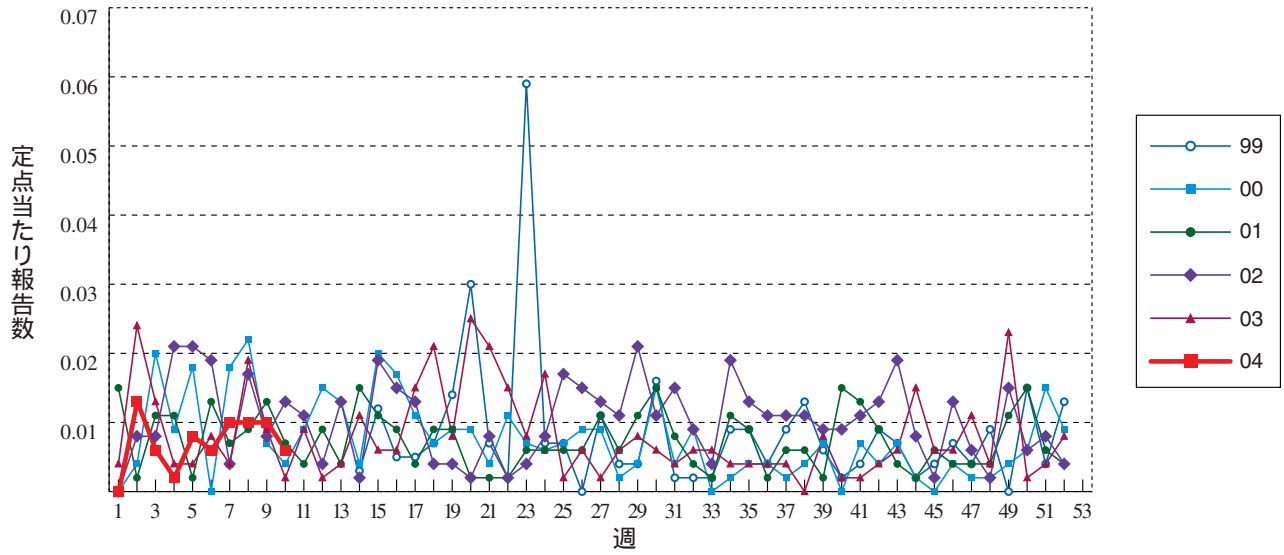
マイコプラズマ肺炎

(年)



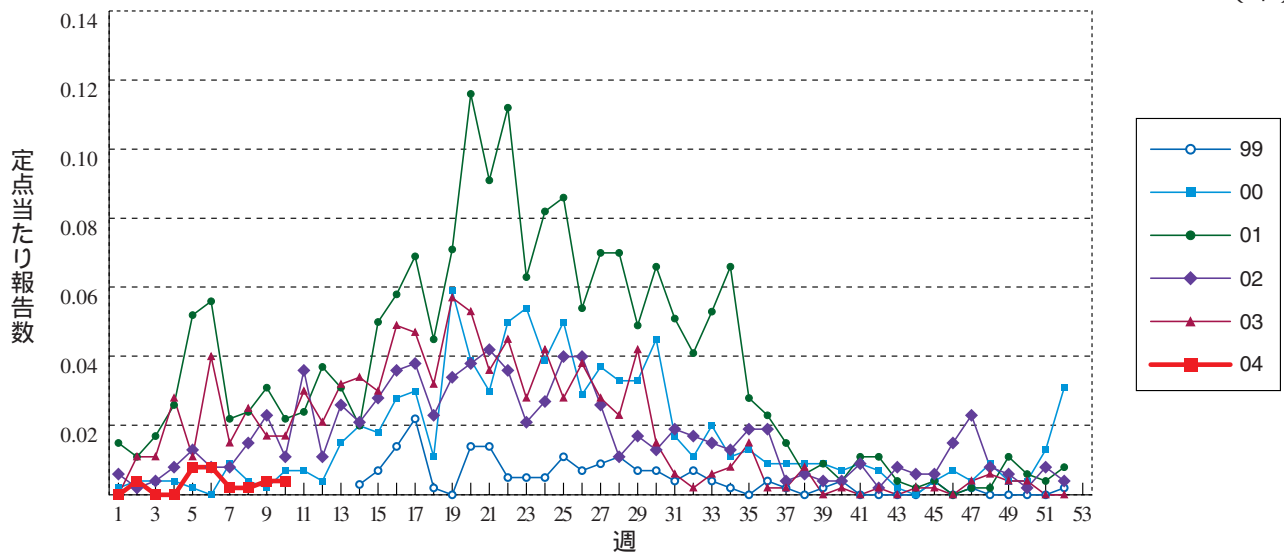
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





10週のデータ

注)表中の報告数は3月11日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成16年10週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	8	58	-	1	-	3	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	18	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	8	-	1	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年10週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	3	62	3	90	1	9	-	-	-	5	-	-	2	43
北海道	-	-	-	-	1	2	1	4	1	9	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	15	-	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
神奈川県	-	-	-	-	-	2	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	1	2	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
大阪府	-	-	-	-	-	7	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
兵庫県	-	-	-	-	1	2	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年10週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	3	-	-	-	1	3	30	1	12	7	151	-	1	-	11	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	7	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	3	52	-	-	-	1	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	1	12	-	1	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	11	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	1	2	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	3	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1	1	20	-	-	-	3	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年10週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	5	1	2	-	-	-	43	-	2	-	-	-	-	6	83	1	7
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	1	1	1	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	2	13	-	-
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	1	1	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年10週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	3	9	-	-	1	18
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	2
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年10週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	3	-	-	3	38	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年10週

	野 兎 病		リッサウイルス 感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ポツリヌス症」「ポツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年10週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	24891	5.29	556	0.18	6602	2.17	30175	9.93	6566	2.16	156	0.05	939	0.31	1799	0.59	26	0.01
北海道	2336	10.34	29	0.20	334	2.34	491	3.43	250	1.75	16	0.11	57	0.40	75	0.52	1	0.01
青森県	414	6.57	-	-	59	1.44	164	4.00	40	0.98	-	-	13	0.32	17	0.41	-	-
岩手県	347	5.60	-	-	83	2.18	219	5.76	64	1.68	-	-	2	0.05	17	0.45	-	-
宮城県	186	2.04	14	0.24	310	5.25	589	9.98	180	3.05	5	0.08	28	0.47	54	0.92	-	-
秋田県	561	10.20	8	0.23	134	3.83	182	5.20	68	1.94	14	0.40	1	0.03	16	0.46	-	-
山形県	208	4.33	9	0.30	180	6.00	346	11.53	78	2.60	-	-	36	1.20	19	0.63	-	-
福島県	348	4.35	4	0.08	124	2.58	511	10.65	91	1.90	2	0.04	4	0.08	34	0.71	2	0.04
茨城県	271	2.38	5	0.07	274	3.70	433	5.85	105	1.42	1	0.01	6	0.08	26	0.35	-	-
栃木県	172	2.46	1	0.02	69	1.50	435	9.46	85	1.85	3	0.07	12	0.26	26	0.57	-	-
群馬県	326	3.29	3	0.05	135	2.21	456	7.48	69	1.13	3	0.05	35	0.57	36	0.59	-	-
埼玉県	543	2.13	18	0.11	565	3.55	1949	12.26	329	2.07	2	0.01	51	0.32	124	0.78	1	0.01
千葉県	435	2.13	30	0.23	405	3.14	1145	8.88	323	2.50	3	0.02	59	0.46	78	0.60	1	0.01
東京都	282	1.58	14	0.10	190	1.34	1254	8.83	192	1.35	1	0.01	56	0.39	52	0.37	1	0.01
神奈川県	729	2.18	45	0.22	429	2.08	1927	9.35	444	2.16	3	0.01	90	0.44	139	0.67	1	0.00
新潟県	648	6.55	23	0.38	373	6.22	412	6.87	145	2.42	2	0.03	50	0.83	53	0.88	1	0.02
富山県	273	5.69	10	0.34	263	9.07	404	13.93	49	1.69	3	0.10	10	0.34	20	0.69	-	-
石川県	359	7.48	16	0.55	68	2.34	357	12.31	55	1.90	10	0.34	11	0.38	17	0.59	-	-
福井県	445	14.35	6	0.29	105	5.00	232	11.05	49	2.33	7	0.33	18	0.86	11	0.52	-	-
山梨県	91	2.22	1	0.04	45	1.80	113	4.52	40	1.60	1	0.04	3	0.12	11	0.44	-	-
長野県	455	5.23	-	-	123	2.24	488	8.87	104	1.89	-	-	18	0.33	22	0.40	-	-
岐阜県	229	2.73	26	0.49	36	0.68	290	5.47	116	2.19	4	0.08	8	0.15	28	0.53	-	-
静岡県	549	4.01	6	0.07	128	1.49	1339	15.57	200	2.33	2	0.02	30	0.35	43	0.50	3	0.03
愛知県	857	4.39	41	0.23	325	1.79	1506	8.27	375	2.06	8	0.04	40	0.22	93	0.51	3	0.02
三重県	188	2.58	15	0.33	102	2.27	769	17.09	81	1.80	4	0.09	12	0.27	36	0.80	-	-
滋賀県	348	6.82	2	0.06	38	1.15	272	8.24	54	1.64	4	0.12	5	0.15	13	0.39	-	-
京都府	414	3.29	3	0.04	91	1.20	789	10.38	105	1.38	2	0.03	23	0.30	33	0.43	-	-
大阪府	854	2.89	26	0.13	213	1.09	1518	7.78	318	1.63	1	0.01	30	0.15	83	0.43	4	0.02
兵庫県	767	3.87	20	0.16	136	1.06	1619	12.65	292	2.28	22	0.17	54	0.42	80	0.63	3	0.02
奈良県	183	3.33	8	0.23	39	1.11	465	13.29	47	1.34	3	0.09	5	0.14	17	0.49	-	-
和歌山県	283	5.66	16	0.52	13	0.42	417	13.45	60	1.94	-	-	15	0.48	20	0.65	-	-
鳥取県	134	4.62	7	0.37	100	5.26	282	14.84	54	2.84	-	-	-	-	21	1.11	-	-
島根県	267	7.03	7	0.30	26	1.13	164	7.13	58	2.52	1	0.04	5	0.22	7	0.30	-	-
岡山県	520	6.19	2	0.04	51	0.94	637	11.80	93	1.72	1	0.02	10	0.19	25	0.46	-	-
広島県	628	5.23	31	0.41	80	1.07	813	10.84	136	1.81	2	0.03	20	0.27	45	0.60	-	-
山口県	929	13.27	15	0.31	83	1.69	755	15.41	156	3.18	1	0.02	4	0.08	44	0.90	-	-
徳島県	176	4.63	7	0.30	25	1.09	270	11.74	44	1.91	4	0.17	3	0.13	10	0.43	3	0.13
香川県	343	6.73	5	0.16	30	0.94	287	8.97	79	2.47	-	-	13	0.41	19	0.59	-	-
愛媛県	521	8.14	3	0.08	74	1.90	516	13.23	129	3.31	-	-	7	0.18	25	0.64	-	-
高知県	439	8.96	2	0.06	69	2.23	251	8.10	53	1.71	-	-	4	0.13	9	0.29	-	-
福岡県	1776	8.97	9	0.08	358	2.98	1864	15.53	459	3.83	7	0.06	33	0.28	103	0.86	-	-
佐賀県	215	5.51	8	0.35	34	1.48	409	17.78	75	3.26	3	0.13	1	0.04	15	0.65	-	-
長崎県	773	11.04	5	0.11	41	0.93	382	8.68	112	2.55	-	-	12	0.27	21	0.48	-	-
熊本県	703	8.68	1	0.02	69	1.41	551	11.24	161	3.29	3	0.06	8	0.16	40	0.82	1	0.02
大分県	1079	18.60	9	0.25	40	1.11	756	21.00	93	2.58	-	-	15	0.42	36	1.00	-	-
宮崎県	1013	16.88	27	0.73	73	1.97	540	14.59	144	3.89	1	0.03	12	0.32	37	1.00	-	-
鹿児島県	784	8.17	18	0.31	54	0.93	482	8.31	223	3.84	2	0.03	8	0.14	35	0.60	-	-
沖縄県	490	8.45	1	0.03	6	0.18	125	3.68	89	2.62	5	0.15	2	0.06	14	0.41	1	0.03

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年10週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	116	0.04	101	0.03	37	0.01	1714	0.56	20	0.03	623	0.98	8	0.02	9	0.02	90	0.19
北海道	-	-	1	0.01	1	0.01	64	0.45	1	0.03	17	0.59	-	-	-	-	1	0.04
青森県	-	-	-	-	-	-	31	0.76	-	-	4	0.36	-	-	-	-	3	0.50
岩手県	-	-	3	0.08	-	-	18	0.47	-	-	6	0.50	-	-	-	-	4	0.20
宮城県	4	0.07	4	0.07	-	-	26	0.44	-	-	4	0.36	-	-	-	-	2	0.17
秋田県	-	-	-	-	-	-	1	0.03	2	0.29	-	-	-	-	-	-	4	0.57
山形県	-	-	1	0.03	1	0.03	13	0.43	-	-	2	0.25	1	0.10	-	-	8	0.80
福島県	1	0.02	1	0.02	-	-	28	0.58	1	0.08	11	0.92	-	-	-	-	2	0.29
茨城県	-	-	-	-	1	0.01	7	0.09	-	-	56	3.50	-	-	-	-	4	0.36
栃木県	3	0.07	3	0.07	7	0.15	5	0.11	-	-	12	1.00	-	-	-	-	1	0.14
群馬県	27	0.44	1	0.02	-	-	70	1.15	-	-	39	2.79	1	0.10	1	0.10	-	-
埼玉県	17	0.11	5	0.03	8	0.05	138	0.87	-	-	23	0.62	-	-	-	-	-	-
千葉県	7	0.05	4	0.03	-	-	69	0.53	4	0.12	23	0.70	1	0.08	-	-	2	0.15
東京都	12	0.08	3	0.02	2	0.01	30	0.21	-	-	22	1.57	-	-	-	-	-	-
神奈川県	8	0.04	8	0.04	-	-	95	0.46	1	0.02	53	1.26	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	2	0.03	3	0.05	49	0.82	-	-	1	0.11	-	-	-	-	6	0.50
富山県	-	-	2	0.07	1	0.03	17	0.59	-	-	1	0.14	-	-	-	-	3	0.60
石川県	-	-	-	-	-	-	4	0.14	-	-	8	1.14	-	-	-	-	1	0.20
福井県	-	-	-	-	-	-	13	0.62	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33
山梨県	1	0.04	-	-	1	0.04	5	0.20	-	-	7	2.33	-	-	-	-	3	0.30
長野県	-	-	-	-	-	-	8	0.15	2	0.18	9	0.82	-	-	-	-	1	0.09
岐阜県	1	0.02	1	0.02	-	-	55	1.04	-	-	10	0.83	-	-	1	0.20	-	-
静岡県	1	0.01	1	0.01	-	-	64	0.74	-	-	23	1.15	1	0.10	-	-	3	0.30
愛知県	3	0.02	6	0.03	-	-	143	0.79	-	-	46	1.31	-	-	2	0.15	5	0.38
三重県	-	-	-	-	-	-	21	0.47	-	-	5	0.42	-	-	-	-	-	-
滋賀県	1	0.03	-	-	-	-	14	0.42	-	-	2	0.29	-	-	-	-	5	0.71
京都府	1	0.01	3	0.04	-	-	26	0.34	-	-	9	0.47	-	-	1	0.14	2	0.29
大阪府	1	0.01	4	0.02	1	0.01	83	0.43	-	-	20	0.41	-	-	-	-	1	0.07
兵庫県	-	-	1	0.01	9	0.07	125	0.98	1	0.03	29	0.83	-	-	-	-	-	-
奈良県	1	0.03	4	0.11	-	-	18	0.51	-	-	5	0.56	-	-	-	-	2	0.33
和歌山県	-	-	4	0.13	-	-	30	0.97	-	-	4	1.00	-	-	-	-	3	0.27
鳥取県	-	-	-	-	-	-	3	0.16	-	-	2	0.67	-	-	1	0.20	1	0.20
島根県	1	0.04	-	-	-	-	12	0.52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.02	-	-	-	-	34	0.63	-	-	15	1.25	1	0.20	-	-	7	1.40
広島県	-	-	6	0.08	-	-	25	0.33	1	0.05	28	1.40	1	0.05	2	0.10	-	-
山口県	-	-	3	0.06	-	-	101	2.06	-	-	10	1.11	1	0.11	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	2	0.09	-	-	6	1.50	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	1	0.03	-	-	15	0.47	1	0.33	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	10	0.26	-	-	19	2.71	-	-	-	-	2	0.33
高知県	-	-	2	0.06	-	-	29	0.94	-	-	2	0.67	-	-	-	-	4	0.44
福岡県	3	0.03	6	0.05	-	-	127	1.06	1	0.04	11	0.42	-	-	-	-	1	0.07
佐賀県	-	-	-	-	-	-	27	1.17	-	-	1	0.25	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	-	-	3	0.07	-	-	12	0.27	5	0.63	13	1.63	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	11	0.22	-	-	19	0.39	-	-	17	1.89	-	-	1	0.07	2	0.13
大分県	7	0.19	5	0.14	-	-	10	0.28	-	-	1	0.20	-	-	-	-	3	0.27
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	0.03	-	-	11	2.75	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	15	0.26	-	-	2	0.03	11	0.19	-	-	12	1.71	1	0.08	-	-	1	0.08
沖縄県	-	-	2	0.06	-	-	6	0.18	-	-	22	2.20	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成16年10週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	3	0.01	2	0.00	102
北海道	-	-	-	-	8
青森県	-	-	-	-	...
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	1	0.08	-	-	3
秋田県	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	6
茨城県	-	-	-	-	...
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	...
埼玉県	-	-	1	0.11	1
千葉県	2	0.15	-	-	-
東京都	-	-	-	-	8
神奈川県	-	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	5
富山県	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	...
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	5
愛知県	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	3
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	...
兵庫県	-	-	1	0.08	1
奈良県	-	-	-	-	...
和歌山県	-	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	19
山口県	-	-	-	-	...
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	6
福岡県	-	-	-	-	8
佐賀県	-	-	-	-	...
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	3
宮崎県	-	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	...

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(…)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

感染症週報 第6巻 第10号 平成16年3月19日発行
発行: 国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局: 国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上に訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。